

1. 自己弁

ペニシリンG感受性 [MIC (最小発育阻止濃度) 0.1 μg/mL] の
Streptococcus (連鎖球菌)

Rp1) ペニシリンG

2,400万 (1,800万 ~ 3,000万) 単位を点滴静注
6回に分割または持続投与 4週間

Rp2) ペニシリンG : 在2週間

+ ゲンタシン 60 mg ないし 1 mg/kgを点滴静注
1日 2~3回 2週間

- ・高齢者や腎機能低下例ではRp1)を選択する
- ・自己弁感染で疣腫のサイズが5 mm以下であり, 塞栓, 心不全や大動脈弁閉鎖不全, 伝導系異常を認めず, 治療開始後1週間以内に解熱し, 臨床的改善があきらかな症例では2週間でも十分な治療効果が得られるという